

根室地区サッカー協会 技術委員会 テクニカルレポート

報告者：新谷 晃司

前田 亮

山中 卓也

(根室地区トレセンU-14 担当)

1. 大会名

2017 道東ブロックトレセンリーグ U-14

2. 日時

2017年5月28日 (日)

3. 会場

網走呼人トレーニングフィールド

4. 結果

結果①

根室 TC U-14	VS	網走 TC U-14
1	前半	2
1	後半	2
2	合計	4

「チャレンジ&カバー」「プレスバック」など、今まで取り組んできたことはできていた。「マークのスライド」や「絞り」が甘く、空いたスペースを突かれ、4失点してしまった。
サイドからの連携で多くのチャンスをつくることができた。

結果②

根室 TC U-14	VS	釧路 TC U-14
3	前半	2
1	後半	1
4	合計	3

試合前のアップで、「マークのスライド」「絞り」について確認し、実行することができた。また、前線からプレスをかけて限定し、相手の行動を読むことで、インターセプトも多くできていた。ケガ等のアクシデントもあり、数的不利になったところで失点してしまったが、よく動いていた。

結果③

根室 TC U-14	VS	網走 TC U-14
0	前半	3
1	後半	6
1	合計	9

②と連戦、かつ交代なくやっていたせいか、運動量が格段に落ちた。中央、サイド問わず、バイタルエリアへの進入を簡単に許し、失点を重ねてしまった。
ボールウォッチャーになってしまい、マークを外してしまう場面もあったため、動きを確認する必要があると感じた。

5. 今大会の収穫と課題・今後に向けて

- 守備面においては、昨年度と比べて1対1の場面で粘り強くいくことができるようになった。ただし、「マークのスライド」「絞り」「限定させて奪う」など、全体的で連携する動きに課題があった。今後のトレーニングにおいて、常に意識させたい。個人の守備の動きも再確認しておきたい。
- 攻撃面においては、「個」で打開する場面が多かったが、ワンツーなどを織り交ぜた、数人での崩しもできるようになってきた。ビルドアップの連携する動きも不足しているので、今後確認してできるようにしていきたい。